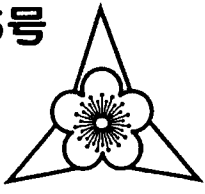


第95号



南 部

■編集発行■
寒河江市立南都小学校
PTA広報部
■印刷■
寒河江印刷(株)

あはれる笑顔



はぐくむいのち

市陸上記録会

《優勝》

★男子400mリレー
〔市長杯〕(1分2秒0)
・6年2組
〔佐藤 佳祐・秋葉 颯
古城 廣康・佐竹 康平〕

《第4位》

★男子100m走
・佐藤 佳祐(15秒8)
★男子70mハドル走
・五十嵐卓月(13秒0)

《第5位》

★男子走り高跳び
・五十嵐卓月(1m18cm)
★男子100m走
・秋葉 颯(15秒9)

《第6位》

★女子400mリレー(1分6秒6)
・6年2組
阿部穂乃花・菅野 友賀
★女子走り高跳び
・武田 郁美(3m21cm)

《第2位》

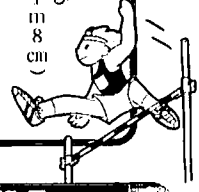
★男子走り高跳び
・秋葉 颯(3m92cm)
★女子100m走
・鈴木 智帆(15秒8)

《第3位》

★男子400mリレー(1分3秒7)
・6年1組
〔落合 亮太・大泉 孝文
五十嵐卓月・後藤 大輔〕

《男子1000m走》

★武田 昌太(3分36秒7)



平成18年度南部小PTA役員

- | | | |
|--------|--------|----------|
| ◇PTA会長 | 藤 崎 正彦 | (教頭) |
| 同 副会長 | 清 正枝 | (教務) |
| 同 幹事 | 司 隆昭 | (主任) |
| 同 幹事 | 山 三幸 | (校長) |
| 同 幹事 | 竹 隆尚 | (前PTA会長) |
| 同 幹事 | 阿 戸部 | (敬称略) |
| 同 幹事 | 水 逸見 | |
| 同 幹事 | 今 井 | |
| 同 幹事 | 安 善 | |
| 同 幹事 | 高 洋 | |
| 同 幹事 | 高 橋 | |
| ◇参 与 | | |



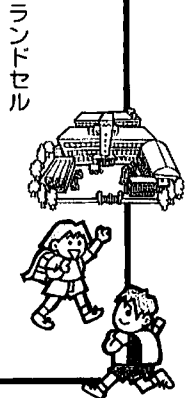
編集後記

今回の広報部は、子どもたちの安全をテーマとしましたが、広報に取り上げざるをえない世情にはとても残念に思います。しかし、テレビや新聞において、子どもが巻き込まれる凶悪な事件や事故が絶えず報道され、寒河江市内においても、不審者の情報が多数報告されています。命を奪い傷つけ合う社会はいつか滅びてしまうのではないのでしょうか。

相模大会の午後、親睦学級を実施して、素敵な思い出、ナイースショット、
..... PTA副会長 古澤 正彦
五月二十七日好天に恵まれ、親睦学級でレクリエーション・クラウンゴルフ大会を開催しました。二〇名以上の参加があり、歓声あり、笑いあり、あつという間の数時間でした。
学年より一名の保護者と先生方を受けて、「チーム六名のメンバーで八ホールまで回ります。打ったボールがホールポストに何打目で入ったか、学年職員対抗にて、打放で競い合いました。一打目でホールポストに入って、「バック」大きな音が聞こえてきたり、ボールを打たないで地面を打ってしまったり、笑いをとった方もいたようです。
その後、体育館での懇親会、各学年ともたいへん盛り上がり、皆さんの喜ぶ顔と「楽しかったよ、よかった」の声に勇気づけられました。先生方、保護者の皆様方に、多数のご協力とご参加を頂きまして本当にありがとうございました。これからも「ふれあひ」をモットーに、楽しい活動に取り組んでいきたいと思っております。



私たちは、限りある命を、人と人、人と他の生物と自然の中で、分け合い助け合う関係を続け、ひとつの地球に生きてきたのです。分け合い助け合う事が共にできる社会が、未来のある社会ではないでしょうか。この社会のために何をすべきか、一人ひとりが考える時だと思います。最後に、お忙しい中投稿にご協力を頂きました多くの皆様方に感謝申し上げます。
広報部長 奈良崎 孝史



ランドセル

せおつてがっこう たのしいな
一年 なかむら けいたろう

ははの日は

まちとおしいな うれしいな
二年 神藤 陽太

さつき晴れ

あせをかきかき たるみこし
三年 菊地 裕次郎

父さんと

かぶとをかざる 子どもの日
四年 佐竹 品士郎

母の日に

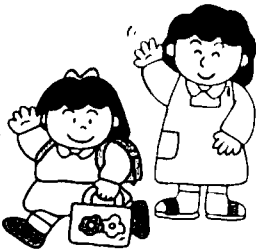
手伝いたくさん 笑顔咲く
五年 五十嵐 夢奈

陸上を

応援してる こいのぼり
六年 渡邊 有紀



◆1年 校長先生となかよし
～学校たんけん～



地域みんなで守ろう 子どもの安全



◆4年 川の健康診断

「子どもの安全」を「協力」を
安全主任 田宮 浩

「子どもの安全が脅かされています。子ども達をめぐって事故が多くなっています。感じるのは、学校だけでなく保護者として同じでしょう。学校では六月上旬に「学校安全旬間」として、校内生活に関わる安全、校外生活に関わる安全について見直しを行いました。中間休みに子どもと共に行った安全点検では、「先生、私にここで前に怪我したことがあるよ」という言葉を聞いて、その箇所を修繕し、再び怪我することのないようにしました。また、家庭訪問中の下校指導では、「この道路を、一人で横断していいのか」と知って、改めて指導したところです。保護者、地域のみならず、関係機関の方々には、学校や子どもの安全をめぐって危機的な状況を是非ご理解いただき、次世代を担う子どもの安全を守るための取り組みにご協力をお願いします。



「南部の子どもは安全か
危ない所はないだろうか」
PTA会長 斎藤 清司

初めまして、今年度PTA会長に就任しました斎藤清司と申します。宜しくお願いいたします。宜しくお願ひいたします。まだまだわからないことばかりで迷惑をおかけすると思いますが、PTA会員の皆さんや教職員及び地域の皆さんのご協力をいただきながら、一年間PTA活動を行っていきたく思いますので、宜しくお願いいたします。見出しに書きましたように、南部地区において子ども達は安全なのだろうか。危い所はないのだろうか。

近頃、新聞やテレビ等で、子ども達が犠牲になる事件や事故が毎日のように報道されています。そのために、登下校時の通学路の要所等に子ども、また下校時には、南部っ子見守り隊の皆さん方が下校する子ども達を温かく見守ってくれています。しかし、それでも目の届かない所も出てくると思

いますので、その時はPTAもしくは学校の方に一報いたただければと思います。こうした中、PTA専門部の一つ生活部では今年度危険マップを作成し配布する予定です。南部地区の危い所、例えば見通しの悪い交差点や橋やロープ等の付いていない資材置き場等々、地図を見ればひと目でわかるようにしたいと思ひます。

しかし、一番大切なことは、大人が、子どもがいつもどんな所で遊んでいるのかを確認し、子どもと話し合うことだと思います。自分の子は大丈夫、その思ひ込みが一番危険を招くのではないのでしょうか。



◆2年 1・2年交流学習 なかよし会

見守りボランティア

南部っ子見守りボランティア 田宮 スエ子

四月十三日より、見守りボランティアをなんの心配もなく引き受けました。その矢先、十九日南部地区でも何かしる事案があり、それ以来重要性を強く感じました。責任のある役を簡単に引き受けてしまった自分に反省し、連休明け、〇〇ちゃんのはあちゃん」と子ども達に声をかけてくれるようになり、見守りに行かないと一日が終らないような気がしています。

（見守り近況）
★「おはあちゃん、昨日〇〇ちゃんが変な人に連れて行かれたらどうなつたんだって。」と目をうるませて話してくれました。いつの間にか手をいつかり握り、家まで送りました。
★「おはあちゃん、雷おっかなくて家まで送って。」とびったり寄り添ってくる子どもを玄関先まで送りました。



◆見守りボランティア

★涙をうかめた女の子が、「〇〇さんと〇〇くんが私をおいて走って行った。」雨の中何かがあつては、「と家まで送りました。お礼を言われすがすがしい気持ちで家に帰ったところだ。」
南部っ子 見守り隊で 安全に
暑い日は、子どもにも負ける 見守り隊



「おらだの学校」
「過かひ目に支えられで」
教頭 小山 三枝子

「おはようございます。子ども達の明るい声が響き合う学校で、毎日楽しく勤めさせていたたいでおります。南部の印象はどう？」四月以来よく聞かれましたが、南部はとにかくパワフルな地域だと思います。

五月三日のお祭りでも、迫力あるおみこしにちんどん屋、児童たちの南部ぶちあわせ太鼓などを見て、私の心は高ぶりつはなしてました。また、多くの方々が学校にいらして力を貸してくださっていることにびっくりしています。花壇えやつりなど、さつまいも、サクラソボ、米作りなどなど、その道の先生として子ども達に積極的にふれあつてくださっています。南部小学校をおらだの学校、として愛し、支援してくれていることを強く感じています。

防犯に関しても、地域の方の絶大な力をお借りしています。物騒な事件事故が続く昨今、今年一月に新しく結成された南部っ子見守りボランティアの方々をはじめ、南部地区防犯協会や子ども会



◆3年 サクラソボの学習
(農業生産技術試験場にて)

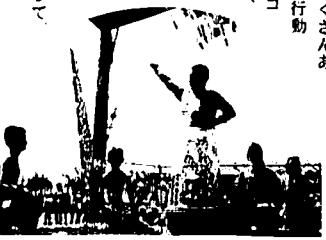
不審者の発生

- ◆平成十七年
 - 十一月二十八日(月)16時20分
 - 男 下半身露出(コートを広げる)
 - 陸中中学校 西原アパート前歩道
 - 対象 3・4年女子5名
- ◆平成十八年
 - 一月十九日(水)20時30分
 - 男 下半身露出(下半身を露出させながら、前を歩いた)
 - 市内中央通りから自宅に向かう小道
 - 対象 市内中学2年 女子
 - 二月二十日(金)18時30分
 - 男 スカートの下、向はてん
 - 「握手しようか」と声をかけられた
 - 市内ハルフルセンター前
 - 対象 市内中学3年 女子2名
 - ◆平成十八年
 - 四月十九日(水)15時50分
 - 男 自転車に乗った男から「お菓子を分けようか」と声をかけられた。そのまま、真温泉の方に行つた。
 - 男1 阿部建設付近の道端
 - 対象 南小2年生 女子2名

危険箇所マップについて

生活部長 安孫子 裕

私達、生活部の年間事業の一つに、危険箇所マップの作成があります。子ども達が、日頃遊んでいる場所、または友達の家へ行く途中の道、通学路など、危険と思われる所を、一枚の地図にまとめ、各家庭に配布したいと考えています。毎日の生活で、大人は自動車での移動がほとんどだと思います。大人が目から見て大丈夫でも、子どもの目線で見たら意外な所に危険が潜んでいる場合があります。歩いたり自転車で乗ったりすると見えてくる危険箇所というものも、たくさんあります。子ども達の行動も読めないもの、目視点から子どもとコミュニケーションをとって、「どこで、誰と、何をして遊んでいるか、親としてきちんと把握しておく必要」があると思います。マップ作成については、生活部が見つけた危険箇所を中心に原案を作成しますので、保護者のみなさまからも意見を頂ければと思います。ぜひ、危険箇所マップを活用して、子どもの安全を守ってください。



◆6年 相撲大会 横綱土俵入り